

どんな職業か

建物の室内の快適な居住空間をつくる最終仕上げの工程であり、建物の出来栄を大きく左右する内装仕上げを行う。

内装仕上げには、床仕上げと壁・天井仕上げなどがあり、建物の種別、用途などにより、それぞれ用いられる材料が異なる。建物の用途、種類、面積によっては、建築基準法と消防法や条例などによって材料、施工方法が規制を受ける。

用いられる材料は、寸法、色調、デザインなど材料メーカー独自のものも多く、用途によって非常に多様である。このため、内装仕上げに従事する内装工の仕事は多くの専門領域に分かれ、その主なものは床仕上げ工、鋼製下地組立工、ボード張り工、壁装工であるが、最近は様々な作業をこなせる多能工を目指す人が多い。

床仕上げ工は、左官が仕上げたコンクリート床や大工が仕上げた木造床の床面に基準線を引いて、中心からタイルやシート類を張ったり、カーペットやじゅうたんを敷き込む。鋼製下地組立工は、軽量鉄骨や付属金物を使って、各部屋を仕切る壁や二重天井の下地を組み立てる。ボード張り工は、鋼製下地組立工が組み立てた鋼製下地や大工が作った木製下地に、合板、繊維板、石膏ボードなどを張って仕上げる。壁装工は、左官仕上げされた壁、天井、ボード張り面などの下地に、ビニールクロスなどの壁紙類を張る。

また、カーテンの縫製取付やブラインドの取付、ふすまや障子の紙張りなども内装工の仕事である。

最近では、様々なライフスタイルに合わせてニーズが多様化しているため、トータルインテリアの提案や施工を行うようになっている。

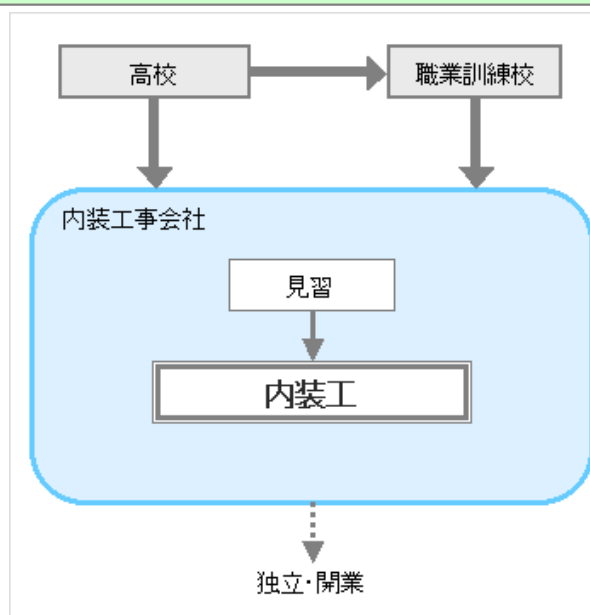
就くには

入職にあたって、年齢・性別・学歴などの制限はなく、特別の資格も必要としない。一般に内装仕上げの各職種に就業するコースとしては、まず内装工事業者へ被雇用者として入職し、見習いからスタートしてだんだん専門的な仕事をマスターしていくというケースが多い。しかし、できれば始めに職業訓練校へ入って、各種内装仕上工としての訓練を受けてから入職する方が、基礎が固まるので、その後の技能の向上が早いと言われている。

「内装仕上げ施工技能士」、「表装技能士」の資格を取得すると、技術の証明として評価され、仕事の幅が広がる。

一人前の内装仕上げができるようになるには、入職後4～5年かかるが、技能が身につけば若くして独立することも可能である。

内装仕上げの各職種とも、基本的には肉体労働で、壁・天井仕上げ施工では足場作業などもあるため、体力が求められる。また、いずれも仕上げの美しさに関係する仕事であることから、美的感覚や空間判断力が望まれる。



労働条件の特徴

内装工は建設現場をはじめ、建築物のあるところが職場となり、建築物の完成に伴って職場が次々に変わっていく。就業者は男性がほとんどであるが、最近では女性の進出も見られる。ただし、若年層の入職者が少なく、平均年齢はだんだんと高くなってきている。

労働条件は、賃金の支払い形態や労働時間、休日なども、建設業の他の職場と同様である。賃金の体系は、日給または月給制であるが、技能が一定の基準に達してからは、月給制から出来高給に変わるというケースが多い。技能が身につけば、作業した量と質に応じて支払いを受けるといった能力給体系となる。

労働時間については、建設業の他の職業と同じく午前8時頃始業、午後5時頃終業というケースが一般的であるが、工事現場の作業環境、工期、施工時期などの関係で、一定しない場合もある。内装仕上げは建築工事の最終工程であるため、他の工程の遅延の影響を受けやすい。また、改装工事の場合は建物の使用者がいない夜間や休日に工事を行うことから、残業や深夜作業・休日出勤なども行われる。しかし、屋内の作業であるため、屋外作業の職種のように天候に左右されることはほとんどない。

参考情報

関連団体 日本建設インテリア事業協同組合連合会 (J.C.I.F)
 電話:03-3239-6551 FAX:
 社団法人 全国建設室内工事業協会
<http://www.zsk.or.jp>
 有限責任中間法人 日本塗装協会
 電話:03-3403-6351 FAX:
 社団法人 日本インテリアファブリックス協会
<http://www.nif.or.jp>

日本室内装飾事業協同組合連合会
電話:03-3431-2775 FAX:

関連資格

内装仕上げ施工技能士 表装技能士 建築施工管理技士 インテリアコーディネーター資格試験